学校番号	412

令和３年度　情報科

教科	情報	科目	社会と情報	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	実教出版「最新　社会と情報　新訂版」　（実教出版）						
副教材等	パーフェクトガイド情報　ofiice2016 対応（実教出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

皆さんが普段使用しているＰＣやスマートフォンは便利な反面、大きなトラブルや犯罪に巻き込まれる可能性があります。高度情報社会の光と闇を理解し、適切に情報機器やインターネットを利用することでより良くコミュニケーションをとっていけるようにしましょう。また、近年ではＡＩや量子化コンピュータの登場など、皆さんの生活を左右ほどこれから大きく変化していきます。そのような社会情勢に目を向けながら、自分ができることは何か考え高度情報社会に必要な知識技能を積極的に身につけましょう。授業では教科書、ＰＣの活用だけでなく、ＤＶＤ鑑賞や自己・相互評価する機会を設けています。

２　学習の到達目標

情報の特徴と情報化が社会に及ぼす影響を理解させ、情報機器や情報通信ネットワークなどを適切に活用して情報を収集、処理、表現するとともに効果的にコミュニケーションを行う能力を養い、情報社会に積極的に参画する態度を育てる。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	情報や情報社会に関心をもち、身のまわりの問題を解決するために、自ら進んで情報及び情報技術を活用し、社会の情報化の進展に主体的に対応しようとする。	情報や情報社会における身のまわりの問題を解決するために、情報に関する科学的な見方や考え方をいかすとともに情報モラルを踏まえて、思考を深め、適切に判断し表現している。	情報及び情報技術を活用するための基礎的・基本的な技能を身に付け、目的に応じて情報及び情報技術を適切に扱っている。	情報及び情報技術を活用するための基礎的・基本的な知識を身に付け、社会における情報及び情報技術の意義や役割を理解している。
評価方法	・授業態度 ・ワークシートの記述 ・課題 ・提出物 ・自己評価・相互評価 等	・授業態度 ・ワークシートの記述 ・提出物 ・自己評価・相互評価 等	・授業態度 ・実技テスト ・課題 ・提出物 等	・授業態度 ・小テストの結果 ・ワークシートの記述 等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	情報社会・	・情報と知識 ・情報化の光と影 ・WWW、ブラウザでWebページを表示する仕組み	○ ○ ○			○ ○ ○	a:授業に興味を持って参加している。 d: 情報と知識、情報化の光と影、WWW について理解している。	提出物 授業態度 小テスト
	情報とメディア	・情報社会における情報の特徴 ・メディアの特性 ・情報の信憑性, 信頼性	○ ○ ○	○ ○		○ ○	a: グループでの話し合いに、意欲的に参加している。 b: 情報の特徴やメディアの種類や構成について考え、状況に応じてメディアを選択できる。 d: 情報の特徴、情報の信憑性や信頼性を理解している。	提出物 授業態度 小テスト
	情報モラルと社会のルール	・個人情報 ・SNS 利用のモラルとマナー	○ ○	○ ○	 ○	○ ○	a: 個人情報の保護に関心を示し, 管理しようとする態度がある。 b: 個人情報について考え、管理する判断力がある。 c:SNS への書き込みを正しく行う技能がある。 d: 個人情報の概念や保護、SNS でのモラルやマナーについて理解している。	提出物 授業態度 小テスト
	文書作成ソフトの使用	・タイピング能力の習得 ・表・図形・画像などを利用したレポートの作成			○ ○		c: 正しいホームポジションを意識して、タイピング能力が身についている。また、表・図形・画像などを工夫して利用し、わかりやすいレポート作成ができている。	提出物 授業態度 実技テスト
2学期	情報機器とディジタル表現	・情報機器とインタフェース ・アナログとディジタル ・ディジタル画像	○ ○ ○			○ ○ ○	a: 情報のディジタル化、情報機器、ディジタル画像に興味・関心を持っている。 d:情報機器の種類と特徴、アナログとディジタルの概念とその相違、ディジタルでのカラー表現,画像の仕組みを理解している。	提出物 授業態度 小テスト

	プレゼンテーション	・プレゼンテーションとは ・決められたテーマに沿ってプレゼンテーションを企画、発表 ・自己評価、相互評価	○ ○	 ○ 	 ○ 	○ ○	a: プレゼンテーションの企画から制作・発表・評価まで積極的に関わっている。 b:ストーリー構成がしっかりとしており、計画的に制作を進めている。 c: 画像、音声、アニメーションなど、多様な表現メディアを利用できる。 d: プレゼンテーションの有用性や相互評価による効果的な表現を理解できる。	提出物 授業態度 発表 相互評価
3学期	表計算ソフトの利用	・表計算ソフトの効率的なデータ入力 ・関数の利用 ・グラフの作成	○ ○ ○		○ ○ ○		a: 表計算ソフトの利用に積極的に取り組んでいる。 c: 表計算ソフトの効率的なデータの入力ができ、関数を利用し作成条件に合う表作成ができる。また、数値の変化や割合などをわかりやすいグラフで表現できる。	提出物 授業態度 実技テスト

※表中の観点について　a ：関心・意欲・態度　　b ：思考・判断・表現
c ：技能　　d ：知識・理解

※　年間指導計画作成上の留意点

原則として一つの単元（題材）ですべての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇をつけている。